

既成市街地の住宅地計画における景観配慮に関する 基礎的研究

大路, 宗義

<https://doi.org/10.11501/3181894>

出版情報：九州芸術工科大学, 2000, 博士（芸術工学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：

謝辞

本論文は、著者が九州芸術工科大学に学位請求論文として提出したものでありますが、本研究に取り組み始めた契機は、著者の20年余の実務体験の中で、景観配慮に関する諸事項について新たな領域として検討が必要ではないかという漠然とした認識があったことであります。その漠然とした認識の一つが本論文ではより明瞭な理解、つまり、望ましい景観の質の諸指標についての総合的理解として示すことができ、本研究の背景的基礎の一つになっております。しかし、当初の漠然とした認識が、その重要性をも含めて明瞭な認識にいたるまでにはいろいろな回り道を経ることが必要でありました。

このような経緯を含め、本論文をまとめるにあたり様々な人々のご指導、ご鞭撻、ご支援を受け賜りました。

九州芸術工科大学芸術工学部重松敏則教授ならびに片野 博教授のご審査とご指導を受け賜りました。また、九州芸術工科大学名誉教授、現神戸芸術工科大学芸術工学部杉本正美教授には、ご審査と共に、直接的なご指導とご激励および綿密なご校閲を受け賜りました。さらに、九州芸術工科大学芸術工学部ならびに同地域研究共同センター包清博之助教授には、具体的なご指導を受け賜りました。

以上の先生方に深く感謝いたします。また、多大なご協力をいただいた研究室の多くの大学院生ならびに学部4年生のみなさまに深く感謝いたします。